

田辺ゆう子 から 佐々木ゆりか へ バトンタッチ!



田辺ゆう子からバトンタッチする佐々木ゆりか(新人)と鶴谷さとみ(2期目)は、2019年4月の統一自治体選挙に2人でチャレンジします。



— 市民自治をすすめるために —

3期12年のご支援ありがとうございました。

北広島市議会議員 田辺 ゆう子

12年前、樫見由美子さんから代理人のバトンを受け取り、このまちがもっと住みやすくなるように生活者の視点で様々な政策を提案、実現してきました。特に無作為抽出で選ばれた市民が課題解決に向け、討議する「市民会議」の実現は市民自治を広げることにつながりました。

2019年、私からのバトンを引き継ぐ、市民ネットワーク代理人候補予定者として、佐々木ゆりかさんが決まりました。私はこれからも平和と人権、環境保全、市民参加型の福祉など広く市民活動に取り組んでいきます。



☆ 佐々木 ゆりか・活動写真 ☆



▲緑葉公園でプレーパーク (2018年)

▲まだ小さかった長男をおんぶして放射線物質測定。(2014年、はかーる・さっぽろ)



◀まちづくり集会にて発表。(2017年)



▲学校における化学物質過敏症等の子どもへの理解や配慮を求める要望書を吉田教育長に提出。(2018年)

市民ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制 (ローテーション)**
最長3期12年で交代、議員を職業化・特権化せず、市民の政治参加を拡げます。
- 2 議員報酬は市民の活動資金に**
議員の歳費は市民の活動費として、みんなで管理します。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
4年に1度の選挙は、みんなでお金(カンパ)と労力(ボランティア)を出し合って。

佐々木ゆりか プロフィール

- 1979年 洞爺湖町(旧虻田町)生まれ
- 1998年 北海道伊達緑丘高等学校卒業
- 2004年 金沢工業大学 工学部 環境システム工学科卒業
北広島市に転入
- 2012年~さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ運営委員
- 2016年 若葉町自治会副会長
- 2017年 北広島わかば幼稚園PTA会長
- 2017年~きたひろプレーパークの会代表
- 2018年 生活クラブ生協北広島支部運営委員
- 現在/北海道・市民の政策ネットワークメンバー
おむすびカフェ粒メンバー
- 家族/夫、長女、次女、長男、母との6人暮らし
- 趣味/読書、アニメ鑑賞 ■特技/文章を読む、書くこと

